

第 218 回 Brown Bag Lunch Seminar ご案内

タンザニア干しいもプロジェクトから学ぶ アフリカビジネス・アフリカ支援

講 師: 長谷川 竜生氏 / Matoborwa Co.Ltd.代表

日 時: 2016年7月13日(水)12時30分-14時(開場12時)

場 所: FASID セミナールーム 参加費: 500 円(賛助会員 無料)

定 員: 40名(先着順)

2016年8月末にケニアで開催が予定されている、第6回アフリカ開発会議(TICAD)では、アフリカ経済の多角化、産業化が優先課題の一つとして想定されています。

貧困削減や人々の安全保障に焦点をあてたこれまでのアフリカ支援から、官民連携、産業政策支援、アフリカを市場と捉えたBOPビジネス、投資促進など、民間セクター支援を軸にしたアフリカ開発の動きはODAにおいても、年々拡大しています。アフリカ各国においても、持続可能な開発を目指し、公的支援のみならず民間企業の進出や、産業育成を基盤にした開発の可能性に高い関心が集まっています。一方で、ビジネスの対象としてのアフリカは、政情不安、法制・税制の課題など、カントリーリスクも影響し、日系企業の進出は未だ限定的であり、日本で収集可能な情報も決して多くはありません。アフリカはビジネスの対象として、どれほどの潜在性を秘めているのでしょうか?

本セミナーでは、タンザニア産のさつまいもを活用した干しいもビジネスに取り組んでいらっしゃる(㈱照沼勝一商店(茨城県)、現地法人Matoborwa Co.Ltd.より、代表の長谷川氏をお招きし、タンザニアでの干しいもプロジェクトの取り組みや課題、今後の可能性についてお話しいただきます。アフリカビジネスにご関心のある方々、ビジネスによる開発課題解決の可能性を模索されている方々、途上国で農業をベースとしたビジネス、支援事業に従事されている方々など、様々な視点をお持ちの皆様に、きっと多くの学びがある事例です。

【講師略歴】 長谷川 竜生 (はせがわ・たつお) 氏

青年海外協力隊、大学院でのアフリカ農業研究を経て、ワタミフードサービス㈱に就職。居酒屋で働きながら店舗経営を学ぶ。その後、月刊『農業経営者』編集部に転職、優れた農業経営者 800 人を取材する。2011 年からルワンダで微生物資材の製造販売事業、及びマカダミアナッツ加工工場の経営に携わる。2014 年、茨城県で干しいもを製造販売する㈱照沼勝一商店から出資を受けて、タンザニアに現地法人を設立。日本にタンザニア産干しいもを輸入すべく、サツマイモの栽培普及と干しいもの品質改善に奮闘している。

参加ご希望の方は 7月12日(火)12時までに、URL 内のオンラインフォームよりお申し込み下さい。 なお、昼食は各自ご持参下さい。

関連 URL http://www.fasid.or.jp/seminar_info/128_list_detail.html

Brown Bag Lunch Seminar 国際開発に関わるホット・イシューやこれまで注目を浴びてこなかった重要課題も取り上げ、援助の質の向上に向けてオープンな議論を行います。講師には国際開発の様々な分野で活躍されている研究者や実務者をお招きし、開発援助実務者、民間企業人、研究者、学生など幅広い立場の方々に広くご参加いただき、自由に意見交換する場を提供します。

一般財団法人国際開発機構(FASID) 国際開発分野の高度な人材育成を行うために設立された、財団法人国際開発高等教育機構をその前身としています。1990 年に経団連(現日本経済団体連合会)協力の下に設立(外務省・文部科学省共管)。公益法人改革に対応し、2012 年現在の組織へ移行。人材育成事業、調査・研究、コンサルティング・事業、奨学金(国内外での博士の学位取得支援)、セミナー等を行なっています。

お問い合わせ先

ー般財団法人 国際開発機構(FASID) 国際開発研究センター 担当:服部 / 原田 〒106-0041 港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6 階 最寄駅:日比谷線神谷町、大江戸線赤羽橋 Tel: 03-6809-1997 Fax: 03-6809-1387 Email: bbls@fasid.or.jp